

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-153	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	CⅡ015-903	VISTA English Communication II New Edition		

## 1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げる。

### 1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を育成する。

### 2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく、地域や民族の個性も同時に尊重し合う豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。

### 3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる生徒に、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を編修の基本方針とする。

- ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、「英語コミュニケーションⅠ」における学習で習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示すると共に、対話的な学びや深い学びを引き出す統合的かつ創造的な言語活動を目指す。
- 生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、主体的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を養成する。

## 2. 対照表

図書の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>題材</b>	①各課でとりあげた題材については、幅広く高校生の知的興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。(第1号)	各 LESSON
	②物語教材においては、高校生の感性に訴える作品を配置した。(第1号)	ENJOY READING! 1, 2
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮する中で、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材の課を設けた。(第2号)	LESSON 5, 7, 9
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱った課を設けた。(第3号)	LESSON 3, 5, 10
	⑤生命の尊重を扱った課を設けた。(第4号)	LESSON 5
	⑥自然科学、環境を扱った課を設けた。(第4号)	LESSON 5, 6, 7, 9
	⑦日本の伝統文化および他国の文化を扱った課を設けた。(第5号)	LESSON 1, 2, 4, 8
	⑧平和を扱った課を設けた。(第5号)	ENJOY READING! 2
<b>言語活動</b>	①本課および各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号)	各 LESSON 各課 TALK! PRACTICE! 各課 CHALLENGE YOURSELF!
	②本課および各課末の言語活動においては、将来の職業の選択、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、生命と自然、平和の問題などについて、自分の考えをまとめて発信できるような題材を扱った。(第1号、第2号、第3号、第4号、第5号)	各 LESSON 各課 TALK! PRACTICE! 各課 CHALLENGE YOURSELF!
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。(第3号)	各課 TALK! PRACTICE! 各課 CHALLENGE YOURSELF! ENJOY COMMUNICATION! WORD BUILDER
<b>付録</b>	生徒の自律的な学習を支える付録を配置した。(第2号)	二次元コード(新出語および本文音声、発音トレーニング、フラッシュカード、題材リンク集) 基本動詞の不規則変化
<b>登場人物</b>	主な登場人物の配置および活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。(第3号、第5号)	各 LESSON 各課 CHALLENGE YOURSELF!
<b>構成</b>	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒にわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	目次、この教科書の使い方 各課 YOUR GOAL

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

---

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、題材や活動の面で配慮した。
2. 外国の文化については、英語を母語とする地域のみならず、国際理解の観点から他の地域の文化についても扱った。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する題材を配置した。
5. カラーユニバーサルデザインの見地から、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助を設けた。
6. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-153	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	CⅡ015-903	VISTA English Communication II New Edition		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列や各領域などの系統・内容に関して、特に以下のことに意を用いた。

### (1)基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②「英語コミュニケーションⅠ」の内容を踏まえて、「英語コミュニケーションⅡ」への接続が円滑に図られるように配慮する。
- ③5領域のバランスを重視し、総合的・統一的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように、構成・内容を工夫する。
- ④教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒にわかりやすく提示され、主体的・協働的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力が育成されるように配慮する。
- ⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を、繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人と関わる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養えるような配慮をする。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、活動、巻末の付録などを充実させる。

### (2)本書の特色と編修上の留意点

#### A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

#### B. 題材内容

- 1) ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容にした。
- 2) 題材は、日常生活・学校生活、日本文化、比較文化、芸術、人間としての生き方、社会貢献、ことば、自然、環境、生物、歴史、科学、平和、産業、スポーツなど多様な内容にした。文章は、スピーチ、プレゼンテーション、対話、説明文、記事、物語など変化をもたせた。
- 3) 場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係をふまえ、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア、中南米の国および人物を配置した。

#### C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」は表現活動で活用することを基本として、5領域の目標を達成するのにふさわしい文法事項を扱った。
- 3) 「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものを扱った。
- 4) 「基本文」は「STUDY IT!」で示した。

- 5) 「単語」は、中学校までの既習語を 2,207 語、「英語コミュニケーション I」の既習語を 406 語とし、それ以外の語を新出語として側注で示すなどした。また、「連語・熟語」「表現」については、脚注下段で示した。
- 6) 「音声」については、標準的な米音を基本とした。

#### D. 言語活動

言語活動は、主に本課本文、「TALK!」「PRACTICE!」「CHALLENGE YOURSELF!」などで言語の「使用場面」を考慮し、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図れるように配慮した。また、5領域の総合的・統合的な関連を図り、思考力・判断力・表現力を養成できるように工夫した。「言語の働き」についても留意し、特に会話で多用される慣用的な表現について、中学校および「英語コミュニケーション I」までの学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱った。

#### E. 本書の構成と内容

- 1) 各課の本文は、5領域の能力の伸長を目指す総合的な教材とした。各課のセクション数は原則として2～3で構成されている。
- 2) 本課の基本本文は脚注の「STUDY IT!」で示し、本文にもマークを付し、課末でまとめて解説した。
- 3) 各ページの側注には新出語、脚注の上段には基本本文を示す「STUDY IT!」、下段には熟語・連語、表現を配置した。

本文使用語のうち、中学校までの既習とみなした語は、巻末「WORD LIST」の中で太字体（ボールド体）で示した。
- 4) 各課の始めの「YOUR GOAL」では、生徒がその課の学習の見通しを立てられるようにした。また、「WARM UP!」と「QUIZ!」を設け、生徒がすでに身につけている題材の背景的知識を活性化させたり情報を得たりするための支援とし、題材内容を補うための情報を扱う「MEMO」を配置した。
- 5) 各課の問題・活動等は、セクションごとの「CHECK!」「SUM UP!」「TALK!」「THINK!」、各課末の「PRACTICE!」「REVIEW!」「CHALLENGE YOURSELF!」で構成し、5領域の言語活動が総合的・統合的に行われるように配慮した。

「CHECK!」「THINK!」は本文の内容に関する問い、「SUM UP!」は本文内容の要約、「TALK!」は本文内容に関連した質問に自分のことについて答える活動とした。

「PRACTICE!」の「TRY」はターゲットとなる文法事項を用いた対話や発表の活動とした。また、音声指導のための音の連結・強勢・イントネーション・区切り・母音や子音などを扱う「SAY IT!」を適宜配置した。

「REVIEW!」は課全体の本文内容を要約する活動、「CHALLENGE YOURSELF!」は、本課の題材に関連した内容で段階を追って自分のことについて発信するための、領域統合的な言語活動に資するものとした。
- 6) 「ENJOY COMMUNICATION!」では、日常会話の中で使われる特有な表現の基本的なものを扱った。
- 7) 「Look and Learn」を設け、文法事項の整理と確認に資した。
- 8) 「Take a Break!」では、漫画、英語の歌、名言を扱った。
- 9) 「WORD BUILDER」では、料理に関する表現、週末の予定に関する表現を扱った。
- 10) 「IDEA BOX PLUS」では、本課の活動において活用できる表現を示した。
- 11) 巻末付録には、「基本動詞の不規則変化」「世界地図」を配置し、「WORD LIST」では、中学校までの既習とみなした語のうち「英語コミュニケーション II」に掲載されている語（954語）と「英語コミュニケーション I」の既習語のうち「英語コミュニケーション II」に掲載されている語（151語）、「英語コミュニケーション II」の新出語（716語）を掲載し、その初出ページを示した。

## 2. 対照表

	図書の構成・内容 (■=LESSON など ●=課間 ○=付録)	学習指導要領の内容
音声	<p>■New Words 欄 本文中の新出の語を提示し、発音記号を付した。</p> <p>■SAY IT! 本文を素材に、強勢やイントネーションや区切り、音の連結や母音・子音などを扱った。</p>	(1) ア (ア) (イ) (ウ)
句読法	<p>■LESSON、ENJOY READING! 本文中で適切に取り扱った。</p>	(1) イ (ア) (イ) (ウ)
語、連語および慣用表現	<p>■New Words 欄 本文中の新出の語を提示した。重要度の高いものについては太字で示した。</p> <p>■脚注欄 本文中の連語、慣用表現などを提示した。</p> <p>●WORD BUILDER 日常生活に関連した語彙を提示した。</p> <p>○WORD LIST 本文中に出てくる語について、アルファベット順に示し、品詞や意味などを提示した。</p>	(1) ウ (ア) (イ) (ウ)
文構造および文法事項	<p>■STUDY IT! 各 LESSON 配当の文法事項を提示し、イラスト付きで解説した。</p> <p>●Look and Learn 関連のある文法事項をまとめ、例文と解説を掲載した。</p> <p>○基本動詞の不規則変化 不規則動詞のうち基本的な語の変化形を掲載した。</p> <p>*各 LESSON で学習する文法事項は本文にマークが付され、段階的に配列された言語活動の中で実際に使っていく。特に TRY においては、実際のコミュニケーションを体験しながら学習事項が定着するよう配慮した。</p> <p>*ひとつ前の LESSON で学んだ文法事項は本文にマークが付され、繰り返して定着するよう配慮した。</p>	(1) エ (ア) (イ)
言語活動① (聞く・読む)	<p>■LESSON 概要や要点などを捉えたり、自分の考えをまとめたりする。</p> <p>■ENJOY READING! 物語の登場人物の気持ちなどを考え、楽しみながら読む。</p> <p>■CHALLENGE YOURSELF! 聞いたり読んだりした情報について、概要や要点などを捉える。</p>	(2) ア
言語活動② (話す・書く)	<p>■TALK! 本文内容に関する質問に答えて対話し、要点や意図などを明確にしながらか自分の考えなどを伝え合う。</p> <p>■CHALLENGE YOURSELF! 伝える内容を整理して話したり書いたりし、要点や意図などを明確にしながらか情報や自分の考えなどを伝え合う。</p>	(2) ウ
言語活動③ (領域統合型)	<p>■CHALLENGE YOURSELF! 領域統合的に、聞いたり読んだりしたことについて、得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分の考えなどを表現する。</p>	(2) イ
聞くこと	<p>■LESSON 本文内容の概要や要点、詳細を捉える。</p> <p>■CHALLENGE YOURSELF! 情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を捉える。また、聞き取った内容について自分の考えや感想を話したり書いたりして伝え合う。</p>	(3) ① ア イ (ア) (イ)
読むこと	<p>■LESSON 本文内容の概要や要点、詳細を捉える。聞き手に伝わる音読をする。</p> <p>■CHECK! 本文内容の要点を捉えて話して伝える。</p> <p>■SUM UP! 本文内容の概要を捉えて書いて伝える。</p> <p>■THINK! 本文内容の要点を捉える。</p> <p>■REVIEW! 本文全体の内容の概要を捉えて、話したり書いたりして伝える。</p> <p>■CHALLENGE YOURSELF! 文章の展開や書き手の意図、情報の概要や要点、詳細などを捉える。また、読みとった内容を参考に自分のことを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>■ENJOY READING! 物語の概要や詳細、文章の展開や書き手の意図を捉える。聞き手に伝わる音読をする。</p>	(3) ① ア ウ (ア) (イ)
話すこと [やり取り]	<p>■TALK! 本文内容に関する質問に答えて対話し、自分の考えなどを即興で話して伝え合う。</p>	(3) ① ア

	<p>■PRACTICE! ターゲットとなる文法事項を含む対話をして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う。</p> <p>■CHALLENGE YOURSELF! 聞いたり読んだりした情報について、多様な語句や文を用いて、自分の考えなどを賛成や反対の立場から理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う。また、やり取りした内容を踏まえて、自分の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする。</p> <p>●Look and Learn 取り上げている文法事項を含む対話をして、自分の経験を伝え合う。</p>	エ(7)(イ)
話すこと 【発表】	<p>■PRACTICE! ターゲットとなる文法事項を含む文を発表して、自分の考えや気持ちなどを伝える。</p> <p>■CHALLENGE YOURSELF! 聞いたり読んだりした情報をもとに、情報や考えや気持ちなどについて、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝える。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</p> <p>■ENJOY READING! 読んだ情報をもとに、自分の考えや気持ちなどについて、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく話して伝える。</p>	(3)① ア オ(7)(イ)
書くこと	<p>■PRACTICE! ターゲットとなる文法事項を含む文を書いて、自分の考えや気持ちなどを伝える。</p> <p>■CHALLENGE YOURSELF! 聞いたり読んだりした内容をもとに、情報や考えや気持ちなどについて、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに詳しく書いて伝える。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする。</p> <p>●Look and Learn 取り上げている文法事項を含む文を書いて、自分の経験を伝える。</p> <p>●WORD BUILDER 2 TRY 自分の考えを、理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える。</p> <p>■ENJOY READING! 読んだ内容をもとに、自分の考えや気持ちなどについて、多様な語句や文を用いて、理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える。</p> <p>■READ ON! 読んだ内容をもとに、自分の考えや気持ちなどについて、理由や根拠とともに詳しく書いて伝える。</p>	(3)① ア カ(7)(イ)
言語の 使用場面 ・ 働き	<p>■LESSON 本文、PRACTICE!、CHALLENGE YOURSELF!          ■ENJOY READING! 本文          ●ENJOY COMMUNICATION! 本文</p> <p>*言語の使用場面や言語の働きについて、各単元で取り扱うよう適切に配置した。</p>	(3)② ア(7)(イ)(ウ) イ(7)(イ)(ウ) エ(オ)

※配当時間については、別記カリキュラム表を参照。

## (別記) カリキュラム表

L = LESSON, RO = READ ON!, ER = ENJOY READING!  
新出単語数(716), 年間配当時間(75)

課	タイトル	主な言語材料	題材/場面	働き	L	R	S や	S 発	W	配当時間
L1	<b>World Dances</b>	want ~ to do · tell ~ to do	外国文化・風俗習慣/テレビ	説明する、描写する	○	○	○	○	○	4
L2	<b>Shobu Meshi</b> — A Good Luck Meal	疑問詞 + 不定詞	食文化/学校生活・新聞	質問する、言い換える、話題を 展させる、相づちを打つ	○	○	○	○	○	4
Take a Break! 1			日本文化/家庭生活			○				1
ENJOY COMMUNICATION! 1			社会・日常生活/旅行	質問する、報告する	○		○			1
L3	<b>Yuru Sports</b>	形式主語it	スポーツ・社会/学校生活	説明する、描写する	○	○	○	○	○	4
L4	<b>A Piece of Cake</b>	疑問詞で始まる節	言語・外国文化・風俗習慣/ 学校生活	注意をひく、質問する、説明す る、言い換える、褒める、理由を 述べる	○	○	○	○	○	4
WORD BUILDER 1					○				○	1
Look and Learn 1		現在形・過去形・未来の表 現・現在完了形・過去完了 形・現在完了進行形・過去完 了進行形					○			1
L5	<b>A Safari Guide in South Africa</b>	ifで始まる節	自然・人間/講演	説明する、例示する、主張する	○	○	○	○	○	5
RO	Rhino Horns					○			○	1
L6	<b>Mont-Saint-Michel</b>	関係代名詞what	外国文化・歴史・社会/ 学校生活・新聞	説明する、描写する、理由を述べ る、提案する、賛成する、反対す る、望む	○	○	○	○	○	5
RO	Mont-Saint-Michel's Famous Omelets					○			○	1
Take a Break! 2			文化/英語の歌		○	○				1
ENJOY COMMUNICATION! 2			社会・日常生活/旅行	質問する、感謝する	○		○			1
L7	<b>Smart Agriculture</b>	使役動詞	科学・産業・社会/学校生活	説明する、相づちを打つ、例示す る、話題を展させる、主張する	○	○	○	○	○	5
RO	AI in Fish Farming					○			○	1
L8	<b>A Martial Art on Tatami</b>	知覚動詞	日本文化/学校生活	説明する、描写する、提案する	○	○	○	○	○	5
RO	A Message in 31 Kana Characters					○			○	1
ENJOY COMMUNICATION! 3			社会・日常生活/病院	説明する、報告する	○		○			1
Look and Learn 2		接続詞							○	1
L9	<b>Biologging</b>	関係副詞	科学・自然・環境/ 学校生活・電子メール	説明する、報告する、共感する	○	○	○	○	○	5
RO	Dolphins' Amazing Abilities					○			○	1
L10	<b>Art Is Long, Life Is Short</b>	仮定法過去	社会・芸術/新聞	説明する、望む	○	○	○	○	○	5
RO	Activities of Tohoku Youth Orchestra					○			○	1
WORD BUILDER 2							○			1
ER1	The Open Window	分詞構文	物語/本	共感する、推論する、主張する	○	○	○	○	○	6
ER2	The Christmas Truce	分詞構文	歴史/社会	共感する、要約する、推論する、 主張する	○	○	○	○	○	6
Take a Break! 3			文化・社会/英語文化		○	○				1
Look and Learn 3		分詞構文							○	1
IDEA BOX PLUS/基本動詞の不規則変化/READ ON! 解答/世界地図/WORD LIST							配当時間合計			75